

西福寺おかげさま食堂 設立趣意書

1. 設立の背景（どのような問題に取り組むか）

私たちが暮らす現代社会には、実に様々な問題が存在していると考えられるが、その一つとして、私たちは、人間同士の関係性が希薄になっていることに対して、強い問題意識を持っている。

近年では、全国的に核家族や高齢者の独り住まいなどの単身世帯が増加しており、身近な人たちとのつながりすら薄くなっていることが危惧されている。西福寺（名古屋市昭和区円上町）を取り巻く地域においても、以前は当たり前のようにあった「おかげさま」や「おたがいさま」の関係が、徐々に失われつつあると感じる。まず、地域の中で日々顔を合わせ、お互いのことを安心して話せるような関係性が作られていないため、それぞれの家庭や地域に起こっている問題に気づくことが難しくなっている。また、気づいたとしても「お節介ではないだろうか？」とためらい、その気がかりを気軽に相談できる人や場も持たないため、結果として、些細なことすら助け合うことが難しい状況が生まれている。

このような、人と人との関わりの貧しさが、私たち一人ひとりの心の貧しさや、様々な社会問題を生み出していると考えられる現状に、私たちは強い寂しさと危機感を感じている。

そこでこの度、私たちは、「西福寺おかげさま食堂」開設のための活動を始めることとした。数多くの人が集うことのできる『お寺』という空間で、『食』を中心としながら、そこに集う誰もが、お互いの存在を認め、一人ひとりをもつ様々な違い（例えば、年齢、性別、人種、宗教、社会的背景や役割、嗜好など）を気にすることなく、安心して集うことができるような場づくりのお手伝いをしていきたいと考えている。

2. 使命

誰もがお互いの存在を認めながら、人と人との豊かなつながりの中で、安心して過ごせる社会をつくること。

3. ビジョン

- 1) 食事を通して人と人が出会い、つながることの楽しさを実感できる場をつくる。
- 2) 様々な人との関わりを通じて、誰もが『人は一人ひとり違う』ということを感じ、お互いの存在を認めながら、自分の強みや価値を見いだしていく。
- 3) 人とつながることの楽しさや安心感を知った人達が、自分の強みを活かしながら、自分の過ごすコミュニティの中で新たな出遇いやつながりをつくりだしていく。

4. 活動内容

活動は、まず月に1回程度、定期的に、家庭的で健康的な食事を提供することから始める。参加費として、参加者から大人300円、こども100円程度をいただくとともに、活動開始時から募金等を募り、運営資金と資材の確保を行う。将来的には、こどもに対する無料の食事提供と、より開催頻度を増やした定期的な開催を目指す。

広報活動は、西福寺周辺の住人を中心に、参加者の範囲を特に限定することなく、誰でも気軽に参加できる場を目指しながら行う。このことによって、多様な人々が共に集い、食を楽しむ場作りを実現していきたい。

活動時は、参加者の一人ひとりが安心していただける場を提供することに重点をおきながらも、参加者から垣間見えるサインは見逃すことなく、必要に応じて、その場での声かけや、しかるべき関係機関（民生委員、社会福祉協議会、児童相談所やその他行政機関、NPO団体など）と連携がとれるような体制を構築していきたい。

<現在計画中的の実施概要>

名称：西福寺おかげさま食堂

実施日：毎月 第2金曜日 17:00-19:00

※第一回目：10/13（金）を予定

会場：西福寺 お斎場

内容：食事の提供、参加者同士の交流、季節に合わせた簡単なレクリエーションなど

参加費：大人300円、子ども100円

5. 主催

西福寺おかげさまプロジェクト

メンバー：愛知宗麿（西福寺住職、第1村雲幼稚園理事長）

愛知 洸（西福寺僧侶、第1村雲幼稚園事務主事）

岡田衣津子（専門学校名古屋医専専任教員、精神保健福祉士、
社会福祉士）

杉山郁子（椋山女学園大学、中部労災看護学校他、非常勤講師）

中尾陽子（南山大学 准教授）

以上